



<同志社人が母校を誇りに思える情報>

「同志社ファン・レポート」(通巻 298 号)

2020 年の発信リスト

八田英二、植木朝子、小松光代、田中智子、大島中正、他

(敬称略)



「同志社ファン」の意味についてご説明させていただきます。

皆さんは、同志社大学の卒業生ですが、新島襄を愛し、同志社が好きだったり、同志社に恩返ししたいという「同志社ファン」なのでしょうか？

私の願いは、一人でも多くの卒業生が、「同志社ファン」になっていただくことです。そして、皆さんの母校愛によって、母校が良くなることを願っています。

それは精神的な「思い」ではなく、学校に必要な施設や人物が充実することです。そのことは卒業生の寄付によって実現すると考えています。

寄付を惜しまない「同志社ファン」になっていただくために、母校を誇りに思える情報をお届けすればと考え、諸先生にご投稿をお願いして、月に二回、お届けしています。

お金の使い方には色々ございますが、母校へ寄付した後の満足感は「とても爽やかで、チョッピリ自己満足が得られる」と伺っています。寄付によって貴方の賢明な意志を表現し、今後の人生を胸を張ってお過ごしいただければと思っています。

2020年に発信の「同志社ファンレポート」一覧

ご投稿いただきました先生方のお陰で次のものをお届けすることができました。

◆1月1日 274号 「教育者・新島襄」-1- 畢生の事業 井上勝也名誉教授

- ◆2月1日 276号 「教育者・新島襄」-2- カルチュア・ショツク
- ◆3月1日 278号 「教育者・新島襄」-3- アーモスト・カレッジ
- ◆4月1日 280号 「教育者・新島襄」-4- 森有礼少弁務使のアンケート
- ◆5月1日 282号 「教育者・新島襄」-5- クラーク博士
- ◆6月1日 284号 「教育者・新島襄」-6- アーモスト・カレッジの特質
- ◆7月1日 286号 「教育者・新島襄」-7- 自責の杖事件
- ◆8月1日 288号 「教育者・新島襄」-8- 同志社大学設立の趣意書
- ◆9月1日 290号 「教育者・新島襄」-9- 熊本バンド入学、人間の偉大さ
- ◆10月1日 292号 「教育者・新島襄」-10- 卒業生の新島回想・新島の遺言
- ◆11月1日 294号 「教育者・新島襄」-11- (最終回) 貿易立国から技術立国へ
- ◆1月15日 275号 「中曽根康弘と同志社」『中曽根康弘が語る戦後日本外交』より抜粋
- ◆2月15日 277号 新島襄永眠 130 周年記念講演会「新島の悲願、新島の情熱」
学校法人同志社総長・理事長 八田英二氏
- ◆2月18日 臨時号 松岡同志社大学学長と佐藤優の頂上対決
＜「週刊新潮」2月13日号掲載内容を編集＞
- ◆3月15日 279号 同志社大学入試のこだわり「記述式」 (事務局編集)
- ◆4月15日 281号 植木朝子新学長の横顔と志など (事務局編集)
- ◆5月15日 283号 健康寿命の鍵は「快眠」にあり
同志社女子大学看護学部教授 小松光代先生
- ◆6月15日 285号 企業が顧客などから信頼を得るには 心理学部 中谷内一也教授
- ◆7月15日 287号 同志社大学の教育改革 社会学部教育文化学科 山田礼子教授
- ◆8月15日 289号 「リエゾンオフィス」について 理工学部 加藤将樹教授
- ◆9月15日 291号 『新島襄英文来簡集』について 京都大学大学院教育学研究科
田中智子准教授
- ◆10月15日 293号 「覚馬とゆく(1)」—山本覚馬建白『管見』を翻刻・翻訳して—
大島中正同志社女子大学表象文化学部教授
- ◆11月15日 295号 「覚馬とゆく(2)」—女子教育— 大島中正教授
- ◆12月1日 296号 創立記念日に発信した同志社大学からのメッセージ
— 2020.11.29 朝日新聞 30 面に掲載の広告より —
植木朝子学長とOGの藤えりかが語り合った (事務局編集)
- ◆12月15日 297号 「覚馬とゆく(3)」— 人身の改革 — 大島中正教授

■**配信先** 私が知りあった卒業生の皆さん。ご投稿戴いた同志社関係の先生方。

海外の校友会支部、国内の校友会支部。

- ・二次配信いただいている方：太宰府の上田彰二氏、ESS・OB会の畠山朔男氏他多数
- ・facebook「同志社ファンを増やす会」でのアップ。それを各同志社団体にシェア。

- ・校友会ホームページへのアップ：東京校友会、神奈川校友会、北海道校友会など。
＜この他にも漏れがあると思いますので、ご連絡をお願いいたします。＞